

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 4 月 7 日

第 12 号

発行 ㈱ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

国立教育政策研究所

副校長・教頭は「危機管理能力」に 高い必要感、チームとしての事務職 参画にも期待

国立教育政策研究所は 3 月、「副校長・教頭の職務状況に関する調査研究報告書」を発表した。

同調査は、「チームとしての学校」が求められる中、これからの学校運営に関し、副校長・教頭の機能強化を目指す施策に資するねらいで実施。昨年 11 月の 1 か月間に、公立の小・中・高校・特別支援学校それぞれの副校長・教頭 700 人にアンケートを実施したもの（有効回答数 2030 人、有効回収率は 72.5%）。

調査は、「校長補佐」「教育者」「教職員集団の長」「実務遂行者」「地域連携の窓口」といった役割群に関する資質・能力と「豊かな人間性」に関する資質・能力について 34 項目を設定し、各項目についてどの程度習得しているかを聞いたもの。

「とても身に付けている」「ある程度身に付けている」のいずれかに回答した割合が高かった項目は、「校長の方針を理解する力」「管理職としての自覚・使命感」「教育に関する信念や理念」「勤務する校種

の子ども・教育・組織に関する知識」「事務職員と連携する力」の順であった。

割合が低かった項目としては「施設管理や会計管理に関する知識」「教職員の評価・フィードバック力」「経営ビジョンを構想する力」「教員の指導力を高める力」「国、地方の教育施策に関する知識」が挙げられた。

また、同じ全項目について必要度を調査。「とても必要である」と回答した割合が高かった項目は、「危機管理能力」「校長の方針を理解する力」「管理職としての自覚・使命感」「校長の考えを職員に伝える力」「教育に関する信念や理念」の順に多かった。

学校運営事務・業務への関与では、「苦情処理」「学校評議員」「運営協議会関係業務」「緊急メール送信業務」「PTA 関係業務」「教員免許関係事務」の順に多く、対外業務の多さが改めて浮き彫りになった。

副校長・教頭への事務職員の支援的関与としては、「適正な事務処理が行われているという安心感を与えてくれる」「学校への来客・電話対応が丁寧である」などが高い一方、「子供や行事に積極的に関わってくれている」「学校教育目標・教育課程を踏まえて仕事を遂行してくれている」が低かった。

また、一般行政採用よりも教育行政採用の学校事務職員の方が、管理職の方針を踏まえた支援的関わりが大きいとの認識があることもわかった。

各教科で育成すべき資質・能力を確認 ——次回まとめの審議へ

総則・評価特別部会の第7回会合が4月4日、文部科学省にて開催された（今回より主査は天笠茂・千葉大学教授、主査代理は市川伸一・東京大学大学院教授）。本紙11号既報のとおり、今回は「国語」「算数・数学」「理科」「外国語」「家庭・技術家庭」「情報」「特別活動」「産業教育」の各ワーキンググループ（以下、WG）と「高等学校の数学・理科にわたる探究的科目の在り方に関する特別チーム」から主査またはそれに代わる委員が出席。各WGの審議状況を報告した後、総則・評価特別部会委員との間で意見交換が行われた。

昨秋より各WGでは次の4点を軸に検討を進めてきた。①その教科を通じて育成すべき資質・能力、②アクティブ・ラーニングの3視点を踏まえた指導等の改善充実の在り方、③資質・能力の育成のために重視すべき評価の在り方、④必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）や条件整備等。ここにきて各WGで①②の大枠のイメージが固まってきたことから、本部会で共有と課題の洗い出し、教科間及び教育課程全体構造における整理が行われた。次回は、小学校部会と幼児教育部会から報告を受けた後、総則・評価特別部会としての中間まとめの審議に移る予定。

月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』（全12巻）

Vol.4 新教育課程を生かす 管理職のリーダーシップ ——次世代に求められる資質・能力の育成に向けて

Vol.4
4月18日刊

巻定価 本体 1,350円+税
セット定価 本体 16,200円+税

セット特価 本体 14,400円+税（平成28年6月30日ご注文分まで特価適用）

■特集——新教育課程を生かす管理職のリーダーシップ

●解説

新教育課程に向けた管理職のリーダーシップ——教育資源・教育内容の構造化と共有化に向けて（天笠 茂）／「チーム学校」を踏まえたこれからの組織マネジメント——関係者総活躍学校に向けて（浅野良一）／「社会に開かれた教育課程」の開発とカリキュラム・マネジメント（吉富芳正）／新課程を見据えた学校改善のポイント（石野正彦）／学校と地域の新たな関係をめぐる管理職の役割（佐藤晴雄）ほか

●事例

校長として次期指導要領にどう備えるか
（安岡幸子 [高知県津野町立中央小学校長]、佐々木隆良 [福岡県朝倉市立甘木中学校長]）

●提言

リーダーは「決断力」で課題解決を（角田 明）

■巻頭インタビュー

遠藤まめた氏 [「やっぱ愛ダホ! idaho-net」呼びかけ人代表]

■連載

新課程を生かすカリキュラム・マネジメント（天笠 茂）／「育ち」と「学び」をつなげる授業（奈須正裕）／実践！アクティブ・ラーニング研修（村川雅弘）／ミドルリーダーが創るこれからの学校（大脇康弘）／学校改革の新定石（西留安雄）／教育課程改訂の動向（文科省教育課程課）／新学習指導要領に向けた指導の充実（教科調査官）ほか

●新年度が始まりました。いよいよ今年度、新しい学習指導要領が告示されます。引き続きご愛読のほど、どうぞよろしくお願いいたします。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを承り中です。右のQRコードから簡単に手続きいただけます。この機にぜひお申し込みください！



4月 ◆7日 世界保健デー ◆8日 灌仏会／忠犬ハチ公の日 ◆9日 大仏の日／フォークソングの日 ◆10日 教科書の日 ◆11日メートル法公布記念日 ◆12日 パンの日 ◆13日 喫茶店の日 ◆14日 椅子の日 ◆15日 ヘリコプターの日 ◆16日 ボーイズビーアンビシャスデー（1877年クラーク博士、札幌農学校去る） ◆17日 ハローワークの日／なすびの日 ◆18日 発明の日／三重県の日 ◆19日 飼育の日／地図の日 ◆20日 穀雨（2016）／郵政記念日 ◆21日 民放の日 ◆22日 アースデー ◆23日 子ども読書の日 ◆24日 植物学の日 ◆25日 壇ノ浦の戦い（寿永4年 [1185年]） ◆26日 よい風呂の日 ◆27日 哲学の日（ソクラテス忌日） ◆28日 サンフランシスコ講和記念日 ◆29日 昭和の日 ◆30日 図書館記念日

●●●4/7～4/30生まれの著名人（敬称略）○○●

4月 竹村健一（7日）、ジャッキー・チェン（7日）、桃井かおり（8日）、DAIGO（8日）、佐藤春夫（9日）、山下智久（9日）、永六輔（10日）、さだまさし（10日）、金子みすゞ（11日）、武田鉄矢（11日）、広瀬香美（12日）、藤浪晋太郎（12日）、吉行淳之介（13日）、宮尾登美子（13日）、アン・サリヴァン（14日）、大友克洋（14日）、レオナルド・ダ・ヴィンチ（15日）、田原総一朗（15日）、チャールズ・チャップリン（16日）、岡崎慎司（16日）、畑正憲（17日）、高見沢俊彦（17日）、宅麻伸（18日）、上地雄輔（18日）、久世光彦（19日）、村野武範（19日）、ナポレオン三世（20日）、宇治原史規（20日）、マックス・ヴェーバー（21日）、輪島功一（21日）、ウラジーミル・レーニン（22日）、新藤兼人（22日）、上村松園（23日）、森山直太郎（23日）、星野富弘 [詩人/画家]（24日）、つかこうへい（24日）、三浦綾子（25日）、坂東玉三郎 [5代目]（25日）、飯田蛇笏（26日）、加藤浩次（26日）、柴俊夫（27日）、宮根誠司（27日）、東郷青児（28日）、原ゆたか [『かいけつゾロリ』作者]（28日）、中原中也（29日）、岸田今日子（29日）、フランツ・レハール [作曲家]（30日）、常盤貴子（30日）

●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431

フリーFAX 0120-953-495

Webサイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者